

第3回麻生区区民会議（全体会議）

- 1 開催日時 平成23年2月24日（木）午後3時00分～午後4時25分
- 2 開催場所 麻生区役所第1会議室
- 3 出席者 [委員]
天野委員、飯塚委員、植木委員、魚本委員、大高委員、金光委員、
鴨志田委員、菅原委員、高瀬委員、竹市委員、武濤委員、田中委員、
東川委員、福田委員、柳島委員、山崎委員
(欠席) 石井委員、梶委員、勝田委員、土井委員
[参与]
尾作参与、山崎参与
(欠席) 雨笠参与、伊藤参与、勝又参与、花輪参与、山口参与、
相原参与、吉田参与
[区役所]
磯野区長、渡辺副区長、間中区民サービス部長、檀市民税担当部長、
月本保健福祉センター所長、木下保健福祉センター副所長、
中山こども支援室長、黒田道路公園センター所長、原橋総務課長、
入口地域振興課長
[事務局]
安生企画課長、阿部企画課担当係長
- 4 傍聴 1人
- 5 次第
 - 1 開会
 - 2 議事
 - (1) 地域交流・文化部会の検討経過報告及び意見交換について
 - (2) 環境・緑化部会の検討経過報告及び意見交換について
 - (3) 企画部会の検討経過報告及び意見交換について
 - 3 その他
 - (1) 区民会議交流会について
 - (2) 第4回麻生区区民会議開催日程について
 - (3) その他
 - 4 閉会

【配布資料一覧】

「次第」

資料1-1 地域交流・文化部会の調査審議状況

資料1-2 高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくりについて

資料2-1 環境・緑化部会の調査審議状況

資料2-2 「エコのまち麻生」啓発用パンフレットの作成について

資料3 企画部会の調査審議状況

参考資料 「区民会議交流会を開催します」

第3回麻生区区民会議

日 時 平成23年2月24日(木)

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時00分開会

1 開 会

武濤委員長 それでは、今日出席予定の方が全員そろいましたので、ただいまより、第3回麻生区区民会議を開催いたします。よろしくお願いいたします。

2 議 事

武濤委員長 早速、議事に入っていきたいと思いますが、まずは本日の議事並びに資料について確認をさせていただきたいと思います。では、事務局からお願いいたします。

事務局 事務局から、本日配付の資料を確認させていただきます。一番上に本日の会議の次第があります。次に、資料1-1「地域交流・文化部会の調査審議状況」でございます。次に、資料1-2「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくりについて」、また、資料2-1として「環境・緑化部会の調査審議状況」、そして、資料2-2として『『エコのまち麻生』啓発用パンフレットの作成について』、あわせてパンフレットの案が添付されております。そして、資料3として「企画部会の調査審議状況」、参考資料として青い紙の「区民会議交流会のチラシ」がございます。以上でございますが、資料に不足等がございましたら、事務局までお申し出ください。

次に、本日の議事について確認させていただきます。次第をご覧ください。2の議事といたしまして、まず3つの部会から検討経過報告及び意見交換をそれぞれ行います。その他として、区民会議交流会並びに第4回麻生区区民会議開催日程についての確認をさせていただきます。また、(3)その他において、事務局より、「麻生区区制30周年記念事業実行委員会」の委員並びに「第4期あさお福祉計画推進会議」の委員推薦について提案し、ご協議いただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

調査審議課題について

(1) 地域交流・文化部会の検討経過報告及び意見交換について

武濤委員長 ありがとうございます。

それでは、次第に沿って進めたいと思います。まず、議事「(1) 地域交流・文化部会の検討経過報告及び意見交換について」に入りたいと思います。

この点につきまして、地域交流・文化部会の竹市部会長からご報告をお願いいたします。

竹市委員 それでは、地域交流・文化部会の今までの調査審議状況並びに今後の方向性について報告させていただきます。

資料1-1をご覧ください。黒地に白抜きで番号が1、2、3と振っております。

これが、今までの当部会の3回に渡る会議並びに2回の勉強会を経て得た結論でございます。これを各々説明していますと大変長くなりますので、簡単に説明させていただきます。

「2 調査審議課題の決定」をご覧ください。これが今までのところでは一番大切かなと思います。どういうテーマに決定したか、ということです。まず1つ目として「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」をメインテーマとしました。では、それをどういう形で展開するのかということでサブテーマとして「地域で支え合うコミュニティシステムづくり」と位置づけました。次に、「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」を2つ目のメインテーマといたしました。こちらのサブテーマとしましては「しんゆり芸術のまちづくりの推進」、そして、これから進めていく「区制30周年に合わせた区民参加の地域づくりの推進」です。

ここに至る過程が、資料中の「1 審議内容の整理」ですが、まずはその中の「調査審議課題について」というところで、1～4と大別して各課題を括っております。皆様からたくさんの提案等があり、それを整理したものが資料の右側の「課題取りまとめ」です。

左側の欄にある各課題で我々が重視した点は、番号が振ってある「16 地域コミュニティシステムづくり」ということです。地域がどのようにして支え合うか。継続性、持続性ということを考えますと、やはり地域で支え合うコミュニティがしっかりしていなければいけない、ということで、個別課題の16番がそのままサブテーマとなって「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」というメインテーマに辿り着きました。

資料左上に挙げた35個の審議課題をまとめたものが、その右の「調査審議課題取りまとめ」です。「1 調査審議課題」の部分は、たくさんの審議提案を吟味して、内容等で類似するものを(ア)から(オ)にまとめ上げました。それから、「2 市・他団体等と連携・協力する課題」として(ア)から(ウ)にまとめました。この1と2の網かけの部分を、我々がこれから具体的に取り組む課題としようと考えています。そして、先ほど申し上げました、2の「課題の決定」を見たわけでありませう。

次に、この課題をどのような手順で進めたらいいのだろうかということで、まず「高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり」について検討しました。高齢者・障がい者などと言っても非常に範囲が広いので、皆さんの意見を聴取してまとめた結果、多くの方が、やはり高齢者の課題を優先的にやったらどうかという結論に至りました。ですから、優先順位として、まずは高齢者の問題を検討していきましようとなりました。

検討するに当たって、やはり高齢者の問題に真正面から日ごろ取り組んでおられるのが社会福祉協議会ではないかという意見が出ました。そこで、まず「ささえあい事業」等について、川崎市として、麻生区としてどんなことをやっているのかという勉強会を開き、その後、社会福祉協議会ではどのような取り組みをしているのかについて、麻生区社会福祉協議会地域課の足立課長をお招きして2回目の勉強会を開催した

ところでは、我々の意図するところと一番関係が深いところが、社会福祉協議会が行っている「ささえあい事業」ということだったと思います。

そして「3 今後の調査審議の方向性」は、高齢者の課題を中心に、地域で支え合うコミュニティシステムづくりについて検討することとしました。その過程において関連する障がい者などの問題が出てきましたら、その都度そこで検討していこう、ということで合意を得ております。

それでは、資料1-2をご覧ください。これは先ほど申し上げました麻生区社会福祉協議会から足立地域課長においていただいた勉強会の内容を整理した資料でございます。社会福祉協議会は、今、ここにある7つの事業を行っておりますが、その中心にあるのが、我々と一番関係があると思われるのが在宅福祉サービス事業です。在宅福祉サービス事業について、足立課長とかなり長時間に渡りお話をさせていただきました。資料中の1-3が主な在宅福祉サービス事業であります。その「1 ささえあい事業」というところに焦点を合わせて話し合いをさせていただいた結果、ささえあい事業の担い手は、1つはささえあい協力員であり、1つはボランティア団体であり、1つは町内会・自治会が協力して、事業を担っているとお聞きしました。

では、その事業の展開といいますか、勉強会を通じて見えてきたこと、わかったこと、それをこの事業展開上の課題とまとめました。1つの課題として、ささえあい協力員です。これは年2回、区社会福祉協議会で講習会を開き、受講者の中から希望者が登録するという形になっているそうです。ところが、まず協力員の人数が増えていない、減少傾向にあるということが心配されています。また、講習会を年2回開催しても、講習会自体への参加者が年々少なくなっている現実があります。一方、区社会福祉協議会の事務局としましては、今後、障がい者や高齢者からたくさんのニーズが出てきたとき、それを支える団体や人が現れたとしても、つなぎ合わせるコーディネーター役を事務局がこなせるかどうかという課題もある、とのことでした。

次に、ボランティア団体についてです。今、グッドネイバースなどの団体が担っていらっしゃるわけですが、まだ一部の地域の取り組みにとどまっていて、全区的な広がりが見えていないところが課題です。

そして最後の課題として、担い手の3つめ、町内会・自治会などです。老人クラブの友愛チームによる活動、特に塔之越自治会の支え合い活動などが積極的に活発に活動されております。しかし、これも一部の地域にとどまっているもので、こうした課題が、我々の「地域で支え合うコミュニティシステムづくり」というところとマッチングするのではないだろうかと考え、この3つの事業の担い手にかかる課題をここに提示させていただきました。

次に、これからの問題として我々の部会で次のようなことを検討していこうというものを示しました。まずは課題となっている原因の調査を進めようではないか、支え合いを行う上で課題の原因は何があるのだろうか、考えたところです。ここに黒ボツで4項目を提示させていただきました。生活支援を必要とする方を果たして把握できているのだろうか。サービス提供する人と受ける人のマッチングはうまくいって

るのだろうか。さまざまな制度があり、社会福祉協議会だけでも取り組んでいる中身がたくさんあり、その他にも行政や団体の活動などがあるけれども、実態としてそれが皆さんに理解され、周知されているのだろうか。具体的に活動となった場合、支えてくれる人が現れるのだろうか、どのようにして支えてくれる担い手を確保していったらいいのだろうか。これらがこれからの調査のテーマとなると考えております。

それから、「2 課題解決方法の検討」です。課題を解決するためにどんな取り組みが必要なのか。当然のことながら、課題の原因をなくすためにどのような取り組みが必要なのか。類似した取り組みを行う団体と連携し、より効果的な取り組みに発展させられないか。それから、モデル的な取り組みを実施し検証できないか。これらに焦点を合わせて、これから検討していくことになっております。

それでは、また資料1-1に戻ってください。2番目のテーマの「区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり」の報告に移ります。「1 しんゆり芸術のまちづくりの推進」について、第2期の区民会議で実施したモデル事業、アルテリッカしんゆりへの支援については麻生区文化協会などに引き継いでいただき、区民会議は全面的に協力、後援する立場として参加させていただくこととなりました。それから、現在もさまざまな活動で情報発信されているところですが、全区的な視点で見ますとまだ十分周知されていない状況にあるようです。まずは、現在どのような情報発信の状況になっているか調査し、検討して、不足するところがあればそれを解決するための今後の方向性を打ち出していこうと考えているところです。

次に、これはまだ発足しておりませんが、「区制30周年に合わせた区民参加の地域づくりの推進」についてです。今後、実行委員会が発足予定とのこと。この動きに合わせて、我々区民会議からも協力・支援することがあれば積極的に参加する方向で検討したいと思っております。

以上が、今までの我々の部会の状況と方向性であります。簡単ですが、これで報告を終わらせていただきます。

武濤委員長 どうもありがとうございました。

ただいま竹市部会長から、地域交流・文化部会の検討経過を報告いただきました。これに関して何かご意見等ございますでしょうか。

今、選定テーマをメインテーマ、サブテーマ、それからそれに至る経過と今後の方向性ということでご説明いただきましたが、そのテーマに関するご意見や取り組みに関するご意見、あるいはご質問でもよろしいのですが、ございますでしょうか。

<委員から特になし>

では、今日は菅原委員がいらしているので、去年まで行っていたアルテリッカしんゆりへの支援を麻生区文化協会に引き継いでいただいた件について、お話をお伺いしたいと思います。

菅原委員 昨年までは区民会議が主体となって、21ホールに向かうフェンスのところに、1年目は小学校の子どもたちの絵、2年目はこども文化センターの子どもたちの絵を中心に展示しました。小学校であれば学校の宣伝と言いますか、学校ではこんな

ことをやっているということ、こども文化センターであれば、それぞれがこんな活動をしているという活動状況などを、子どもたちの絵と一緒に展示させていただきました。それなりにたくさんの方が見てくださったことと思います。

今年は、実際に事業に取り組むのは区民会議ではなくて、区文化協会がやったほうがいいのではないかとということで急遽引き受けることになり、検討させていただきました。すでに部会の皆さんには一応決まったことはお配りしたのですが、4月後半から5月8日までの間、公立、私立を含めて13の保育園に参加をいただき、それぞれの園の宣伝等を含めて、4月から入園してくる新しい子どもたちの絵画作品を展示することになりました。展示場所は21ホールの1階、自由通路の壁面をお借りすることによって話が進んでおります。4月27日から5月2日までが公立保育園からの作品で、5月2日から5月8日までが私立保育園に参加いただきます。全園が参加してくださるということになって、区役所のこども支援室にも大変ご協力をいただき、順調に準備が進んでおります。区民会議は「後援」という立場ですが、役割分担として巡回をちょっとお手伝いしていただくこともあるかもしれません。一応、そんなことで新しい方向でまとまりましたので、お知らせします。

竹市委員 ただいま菅原委員から説明があったとおりでありまして、川崎市の自治基本条例に基づいてできた区民会議の性格上、事業の主催者とか主体となるのはいかがなものかという議論がありまして、このような結論に達したということをつけ加えさせていただきます。

武濤委員長 ありがとうございます。

今それぞれご説明がありましたような形で、4月末から保育園全園の参加でこどもの絵の展示を行う予定ですね。ぜひ我々も見に行きたいと思いますが、この詳しい日程等はまた改めて我々にもお知らせいただきますようよろしくお願いいたします。

事務局 今、コピーをお渡ししたいと思います。

武濤委員長 ありがとうございます。

それでは、議事の最初の地域交流・文化部会の検討経過報告及び意見交換につきましてご承認いただけますでしょうか。

<委員、承認>

ありがとうございます。

(2) 環境・緑化部会の検討経過報告及び意見交換について

武濤委員長 それでは続きまして、議事「(2) 環境・緑化部会の検討経過報告及び意見交換について」に入りたいと思います。こちらにつきまして、環境・緑化部会の福田部会長からご報告をお願いいたします。

福田委員 それでは、環境・緑化部会から報告いたします。皆様にお配りされている資料2-1に沿って説明させていただきたいと思います。先ほど地域交流・文化部会からもありましたように、資料中「1 調査審議課題の絞り込み」と上段にあります。同じように審議課題について委員から広く募集いたしまして、第1回部会から第3回部

会にかけて絞り込みを行いました。1のところを見ていただくとわかりますように、さまざまな調査審議課題の意見が出たのですが、麻生区の特性を活かした取り組みをどのようにまとめるかというところにかかなりの時間と労力を費やしてまとめを行いました。

右側の「2 調査審議課題の絞り込み経過」ですが、メインテーマ（案）の1つとして、「(1) (仮称) エコ活動、エコの推進」という形でくくらせていただいた二重線の枠です。こちらのサブテーマ（案）として、「ア 生ごみリサイクルのシステムづくり」と「イ 環境家計簿を通じたCO₂削減活動」があります。

もう1つのメインテーマ（案）は「(2) (仮称) グリーンアップ」という活動でくくりました。そのサブテーマ（案）としましては「農と緑の保全のためのネットワークの拠点づくり」です。

実際に進めていく活動は、こちらに出ている3つになるのですが、上記のメインテーマ（案）を中心に勉強会を進めながら再検討し、メインテーマの決定に向けて調査を進めていきましょう、というところが第1回から第3回の環境・緑化部会の内容になります。

資料の下段に移りまして、調査審議状況と今後の方向性についてです。調査を実際に進行するというので、勉強会を2回、現在まで行っております。「(1) 各テーマ（案）の取り組み内容について検討」のところですが、「ア 里山カフェ塾の活動状況視察」は2月12日に行われました。こちらは先ほどご紹介した「(仮称) グリーンアップ」の「農と緑の保全のためのネットワークの拠点づくり」のために、里山フォーラムを主催している麻生区のネットワークがあるもので、そこに調査に伺いました。早野里山ボランティア活動の状況調査ですとか、ボランティア団体代表の方からの意見聴取という形になります。こちらはまだ継続中でして、3月5日に、年に1回の里山フォーラムが開かれるのですが、この場でまた、現在現場を支えられている団体の皆様と意見交換を進めていきたいと考えております。

続いて「イ 勉強会の開催」に移らせていただきます。先日2月17日、区役所で開催いたしました。話が前後するのですが、aの勉強会は、先ほどの調査審議課題メインテーマ（案）の「(仮称) エコ活動、エコの推進」にある「生ごみリサイクルのシステムづくり」の講師として、環境局減量推進課減量推進係長をお招きして、川崎市のごみの減量対策についての現状、今後の計画、見通しなどをお伺いしたものです。第2期のテーマでも「循環を目指した生ごみリサイクル」とありましたので、こちらの方向性、実現の可能性などを現状の政策面からご意見を伺う形で勉強会を開催させていただきました。

また、もう1つのテーマ（案）「(仮称) グリーンアップ」の「農と緑のネットワークの拠点づくり」にかかる講師として、財団法人川崎市公園緑地協会の職員をお招きしました。現在公園緑地協会で開催している里山ボランティアの活動状況、また新しい取り組み、実際に活動されていて成功されている例と今後の課題、といった点を具体的にお話いただき、さまざま意見交換をさせていただきました。

「(仮称) グリーンアップ」のメインテーマ(案)の方ですが、「農と緑の保全のためのネットワーク」という形で最初はメインテーマを予定していたのですが、農業については任期内での具体化が難しいということ、農家の方との連携を深めていく期間が実際には難しいのではないかとということになり、今回は里地里山を「(仮称) グリーンアップ」の中で実際に取り組む1つのテーマとさせていただきます。資料の右上では出てくるのですが、もうこの時点で「農地」という言葉は出てきませんので、ご注意ください。そういう形で今後も勉強会を中心に調査を進めていきたいと考えております。

では、資料の右下の部分に移らせていただきます。具体的な取り組み内容についての絞り込みを現在も検討中ですが、調査審議テーマの再調整という形で、取り組み内容を「生ごみリサイクル」と「里山ボランティア」の2つに絞り込み、それに合わせてテーマも再調整を実施し、進めております。

先ほど上段にありました「環境家計簿を通じたCO₂の削減活動」についてですが、すでに川崎市で、具体的な学校での取り組み「エコチャレンジ」というCO₂の削減活動を予定されているということで、市が大々的にこれから取り組むものや計画に入れている分については区民会議がわざわざ取り組まなくてもよいのではないかと、いうところを議論させていただきました。それを受けて、今回はこの調整段階で取り組み内容を「生ごみリサイクル」と「里山ボランティア」という2つのテーマに決めさせていただきました。

では、下の段の「(1) (仮称) 循環型のまち・生ごみリサイクル」についてです。まだ案なのですが、1つのテーマとして、現在のところはこの名前を付けさせていただこうと考えております。取り組み内容(案)といたしましては、「ア プロジェクト設立と第2期の区民会議で取りまとめた内容をより発展させたフォーラムを開催」したい、という意見が挙がっております。第2期でもフォーラムは開催していますが、より第2期のまとめをさらに発展させる環境フォーラムという形の開催ができるのではないかと、検討させていただいております。

続いて「イ (仮称) 麻生区生ごみ活かし隊の設立」のところですが、区民への普及啓発とコミュニティづくり、広報、堆肥化支援、第2期モデル事業の充実と発展、生ごみ堆肥化のモデル事業の実施、生ごみリサイクルプラントの可能性を検討という形で、今のところ取り組み内容はどれが実際に具体化できるか、を調査審議させていただいている形になります。

備考欄は先ほどお伝えした部分です。

それでは、(2)「(仮称) グリーンアップ・里山ボランティア」に移らせていただきます。取り組み内容としましては、里山ボランティアの新設を考えております。現在、地域ごとに緑地を保全されて活躍されている団体はたくさんいらっしゃって、里山だけでも区内に17ヶ所とお伺いしております。そういう既存のところではなく、現在管理の行き届いていない場所、具体的に言いますと、川崎市が緑地を保全するためにどんどん買い上げてくださっている緑地のうち、まだ手つかずであったり、管理

団体も立ち上がる目処がない緑地が具体的にあるという情報をいただいております。そこで、ぜひここに区民会議として、モデル事業的なもので、地域の人たちに団体立ち上げまでのきっかけづくりを行ったり、区民会議ならではの取り組みとしての新しい事業立ち上げができないか、ということを検討させていただいています。

その下の段の「農」については、農家の方の理解・協力が欠かせないもので、部会内でもやってみようという案もあったのですが、その取り組み期間が限られておりますので、今回は里山の取り組みに特化して、具体化しましょうという形でまとめさせていただきました。

今回は、3月4日にもう1度勉強会を予定しております、まだ具体的にこれだという取り組み案が決まってませんので、この資料中に記載の案の中から実際に区民会議として具体化できる案をぜひ練り上げたいということで、勉強会と部会をあわせて、ぜひテーマの決定をさせていただきたいと思います。

それでは、資料の一番下、「次回部会の審議と今後の方向性」のところですが、「(2)「エコのまち麻生」啓発用パンフレットの校正並びにその活用方法、配布方法の検討」というところについて、次の資料2-2を使ってご説明いたします。

経過としては、第2期区民会議が身近なエコ活動を推進する目的で、区内小学校長などの協力をいただき、小学校環境学習資料として「麻生区エコカルテ」を作成されたことから始まります。第2期区民会議の提言の中に身近なエコ活動につながる取り組みの継続的实施について盛り込まれたことなどから、麻生区役所では「エコのまち麻生推進事業」を立ち上げ、取り組みを進めておられます。その取り組みの1つとして「エコのまち麻生」啓発用パンフレットを企画されていて、そこに第3期区民会議の環境・緑化部会としても編成作業等について、一緒に作成の準備をさせていただいております。

目的は、「区内の自然環境やさまざまなエコ活動事例を広く知っていただくことでエコ活動に取り組む契機とする。」「区民が取り組んでいる身近なエコ活動事例を広く募集し、継続的に情報発信をする。」としております。

本日配布資料の後ろの方に、実際のパンフレットの構成案が付いておりますので、啓発用パンフレットとはこのようなものになるということを確認いただければと思います。

今後のスケジュールとしては、この黄色いパンフレットの編集作業を進めさせていただきます。3月7日の環境・緑化部会で、本日の全体会議の中でこの案に関していただいたご意見も併せて原稿の再確認をし、その上で印刷を依頼したいと思いますので、ぜひ皆様のご意見をいただきたいと思います。

なお、パンフレットの配布先については、まだ確定しておりません。市民活動団体、町内会・自治会などを中心に調整していく予定です。この配布先等の調整につきましても、この場にて皆様のご意見をお伺いしたいと考えております。設置場所も同様です。作成部数は6,000部と資料には書いてありますが、上限として6,000部と考えており、これについても配布先、活用方法、広報についてぜひ皆さんの広

いご意見を集めた上で、部会の中でさらに検討させていただきたいと思います。環境・緑化部会の現在までの進行状況は以上になります。

武濤委員長 どうもありがとうございました。

ただいま福田部会長から環境・緑化部会の経過報告がございました。地域交流・文化部会と同じように選定テーマの状況や今後の方向性についてご報告いただいたわけですが、これに関してのご意見等はございますか。

植木委員 このパンフレットの内容は非常にいいと思いますが、コストの面について資料中何も触れられていません。そこら辺をちょっと教えていただけますか。

事務局 区の予算で40万円ほどでございます。

武濤委員長 ありがとうございます。

ほかにご質問、ご意見等はよろしいでしょうか。

パンフレットについては、先ほどもお話があったように、配布先などについて3月7日の環境・緑化部会で最終的に審議決定していくことになるので、この場にてご意見とか、こうしたらどうかというアイデアがあれば皆様から出していただけるとよろしいかと思えます。いかがでしょうか。

竹市委員 今の「エコのまち麻生」パンフレットの件で、植木委員からも非常にいいというご意見でした。そして、委員長より、これに加えるものがあれば参考にどうだろうか、ということで、1つ提案いたします。

例えば今、川崎市では、道路公園センターとともに、緑地管理運営協議会、公園緑地愛護会という組織を核にした新しいコミュニティづくりということを推進してきているわけですね。協議会がたしか83ぐらいあったかと思えます。愛護会も80ぐらいあって、合計160ぐらいの管理団体があると思えます。以前、私ども市民交流館やまゆりで1度調査を行ったことがあります。現地調査をしますと、多くの人が、参加の方法だとか、どこに問い合わせたらいいのかわからないとのことでした。参加されている方々は、たまたま団体に声をかけたら、来てほしいと言われ、非常に歓迎されているのだと感じたとのことです。今、愛護会を含めて160前後の団体があるとすれば、その活動日や活動内容、問い合わせ先を一覧表にまとめたものもここに加えたらいかがかなと思えますが、どうでしょうか。

武濤委員長 このパンフレットの内容に加えていく内容のご提案ということですね。

竹市委員 緑の保全に関して、そういう市民からのご意見がありましたから、それも加えたらどうかと思いました。掲載内容については、当然環境・緑化部会で検討することでございますが、参考までにとのことです。

武濤委員長 ありがとうございます。

それでは、これは環境・緑化部会にぜひお持ち帰りいただければと思います。

ほかにございますか。よろしいですか。

それでは、議事（2）環境・緑化部会の検討経過報告及び意見交換について、ご承認いただけますでしょうか。

<委員、承認>

ありがとうございます。

(3) 企画部会の検討経過報告及び意見交換について

武濤委員長 続きまして、「議事(3) 企画部会の検討経過報告及び意見交換について」ですけれども、こちらにつきましては、企画部会の金光部会長からご報告をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

金光委員 それでは、企画部会の審議状況について、資料3に基づいて報告させていただきたいと思います。報告につきましては大きく2つに分かれまして、1つ目が広報・広聴活動について、2つ目が全体テーマについてとなります。

まず、「(1) 広報活動」につきましては、この区民会議が開催された後、区民会議ニュースを発行する予定になっています。それに伴いまして、編集、印刷、発送手配等を企画部員が中心になって実施することになりますが、その役割分担を一応決めました。スムーズに発行できるような体制を作ったということです。発行するに当たって、次号は3月下旬に発行予定ですが、町内会・自治会に発送して、それぞれのところで回覧をしていただくようお願いする予定です。さらに、設置する場所として、区役所、市民館、図書館、市民交流館やまゆり、区社会福祉協議会といった場所を考えております。発行する小冊子などの広報については、これから効果的な活用方法などを検討していきたいと考えております。

「(2) 広聴活動」についてですが、今まで区民会議の提案箱を置いていた場所を、もう少しわかりやすいところに変更いたします。具体的には、設置場所を麻生区役所2階の資料コーナーにある閲覧机の上に変更いたしました。ぜひ何かありましたらそこへ、区民会議に関しての意見、あるいは提案等を入れていただければと思いますので、よろしく周知徹底のほどをお願い申し上げます。

それから、この全体会議、あるいは各部会の傍聴が一応できることになっていますが、その際、傍聴された方々にアンケート用紙を配布して、内容についていろいろと意見を書いていただく形となっています。今までは当日のうちにアンケート用紙を書いて出していただく形になっていましたが、中には忙しくて時間がないというような方もいらっしゃいますので、一応後日提出できるように用紙の中にファクス番号を入れて、後日ファクスで担当へ送付していただくこともできる形に変えましたので、より積極的な意見がいただけるようになるのではないかと思います。

それから次に、全体テーマについてですが、第2回区民会議において、全体テーマは各部会の方向性が出された段階で企画部会で再度検討し、調整することになっていました。その後、それぞれの部会で方向性がかなり具体化されてまいりましたので、全体のテーマをどうするかを部会において話し合いました。第1・2期区民会議のテーマそのままではありますが、区民会議そのものが長期にわたって取り組む内容であるため、継続してそのテーマを使っているのではないかと案が出まして、この資料にあるように、全体テーマは「心が響きあう地域づくり」をそのまま使おうとなりました。さらに、もっと違ったいいテーマ案があれば、今日この場で提案していただ

ればと思います。以上でございます。

武濤委員長 ありがとうございます。

ただいま金光部会長から企画部会の検討経過についてご報告をいただきました。広報・広聴活動についてと全体テーマについてのお話でしたが、こちらについてご意見等ございますでしょうか。特に先ほどの全体テーマの選定については、部会長からもありましたように、この場でご意見等をいただいて進めていきたいということでございます。

柳島委員 今ふっと思い付いたもので、社会福祉協議会のテーマみたいになってしまいますが、『心が響きあう』の代わりに『人と人と手をつなぐ地域づくり』なんていうのもどうでしょうか。『心が響きあう』というのもよいのですが、皆さんお互いに手をつないで地域づくりをする、という意味合いを出してみてもはどうでしょうか。ちょっと、今急に思い付いたもので申しわけないですが。

武濤委員長 ありがとうございます。

今、柳島委員から「人と人と手をつなぐ地域づくり」というご提案がありました。いかがでしょうか。

田中委員 今、柳島さんが提案されたので便乗してしまいますが、『心が響きあう』というよりはもう少し『お互いにかかわり合いを深める』というか、『おせっかいをやく』とまでは書けないにしても、何かそういうイメージにしたらいいいのかなというのが意見です。

武濤委員長 今のご意見で言うと、『響きあう』というより『手をつなぐ』とか、そういった方がよいということですかね。

田中委員 『深くかかわり合う』というか、そんなイメージの方が我々が目指すところに近い気がします。

武濤委員長 ほかにご意見はございますでしょうか。

植木委員 急に言われてもなかなかすぐにはいいアイデアが出てこないから、もし皆さんの意見を募るのであれば、1度メールでも何でもいいからみんなで意見を出し合って、それを基に企画部会である程度まとめてもらうとかしてはどうでしょうか。

武濤委員長 ある程度の時間を決めて、ですね。

福田委員 すみません、金光部会長に質問です。メインテーマは、(自分は企画部会に参加させていただいたので流れはわかりましたし、ここでご意見を伺うということだったんですけども、)麻生区として今まで、テーマを動かさない、同じテーマで取り組んできたということをご存じない方もいらっしゃると思います。また、テーマを変えるからこそたくさんのご意見が出ると思うんですが、こちらは今回、案を広く募集しているいろいろなご意見を伺い、再度検討する形で、例えば自分が案を出させていただく形でもよろしいのでしょうか。

金光委員 これは僕の判断で決められるわけじゃないので、区民会議の委員の皆さんで、どういうテーマ設定がいいのかを一緒に考えていただけたらと思います。ここにいる方々が、手をつないでいろんな課題を解決していきましようと思っております。

テーマであるならば、それでいいのではないかと思います。

『心が響きあう』ということは、お互いに心と心を通じ合うことにつながるわけですね。心がつながるといことは、必然的に手がつながっているわけです。それと同時に、お互いに協力し合おうということがもう自然の段階ででき上がっているということが、この「心が響きあう」という表現の中に含まれています。だから、もっと抽象的な形で、今、希薄社会と言われているのと相まって、希薄という言葉と反対の意味をうまく表現されている言葉ではないかと個人的には思っています。だから、この言葉を全体テーマとしてまた踏襲してもいいか、という感じを持ったわけです。

ただ、委員の皆さん方が、いや、そうではなくて、もっと違った形でいい言葉があるというのであれば、それに越したことはないと思います。このことについてさらに検討していくのであれば、皆さん方からそれぞれ事務局へ、こういう形のテーマがいいのではないか、というご提案をいただいて、それを企画部会の中でもう1回練り合わせて、次の全体会議の場で発表する形を取ってもよいと思います。

武濤委員長 ありがとうございます。

柳島委員 私が発言したのは、テーマというのは、普通でいう標語のようなものでしょう。だから、高尚なものもいいけれど、本当に皆さん誰でもという、身近な言葉をふっと思いついて発言したので、もとの案が悪いというわけではないです。

武濤委員長 ありがとうございます。

今、金光部会長からもお話がありましたように、今日この全体会議での提案に対して皆さんからいただいたご意見を踏まえ、次回の企画部会で最終的に検討して決めさせていただくということによろしいでしょうか。また、次回企画部会が開かれるまでの間に、こういうテーマ設定はどうか、というご意見がありましたら、メール等で提出いただいて、それも検討の際に加味していただくということです。もし皆さんにご同意いただけましたらそのようにしたいと思います。日にち等につきましては事務局から皆さんにご連絡をさせていただきたいと思います。それでよろしいでしょうか。

<委員、承認>

それでは、そのようにさせていただきます。

ほかに、企画部会の調査審議状況についてご意見等ございますでしょうか。

それでは、「議事（3）企画部会の検討経過報告及び全体テーマについて」、ご承認いただけますでしょうか。

<委員、承認>

ありがとうございます。

3 その他

（1）区民会議交流会について

武濤委員長 それでは、議事進行のその次、「3 その他」に参ります。

「（1）区民会議交流会について」ですが、こちらにつきましては、金光企画部会長よりご説明をよろしく願いいたします。

金光委員 区民会議交流会ですが、この交流会は、川崎市にある7区の各区民会議委員が3名ずつ集まって、3月19日午後1時から午後3時までの間で、かわさき自治推進フォーラムの分科会として開催する形となっています。そこでは、各区の区民会議においてさまざまな意見が出ているところですが、それらの意見調整とお互いの情報交換をしましょう、という会議でございます。麻生区からも、委員長、それから環境・緑化部会長、それから企画部会長の3人が出席する予定となっておりますので、皆様、ひとつよろしく願い申し上げます。また、この会議に興味のある方は、当日どなたでも傍聴、参加が可能ですので、皆様もこの時間にあわせてご出席いただければと思います。

武濤委員長 ありがとうございます。

今お話のありましたように、3月19日の土曜日、午後1時から午後3時まで、高津市民館で区民会議交流会が行われる予定となっております。金光企画部会長と福田環境・緑化部会長、それから私も行ってまいりますので、お時間のある方はぜひ傍聴していただければと思います。よろしくお願いいたします。

(2) 第4回麻生区区民会議開催日程について

武濤委員長 続きまして、その他の「(2) 第4回麻生区区民会議開催日程について」です。こちら金光部会長からご説明をお願いいたします。

金光委員 第4回区民会議の開催予定でございますが、一応5月下旬に開催することで今検討をしております。市議会の開催状況がまだはっきりしておりませんので、その日程が判明した段階で候補日を調整し、事務局より各委員の方々に日程調整の依頼を送付する予定にしておりますので、ひとつよろしく願いいたします。日程調整の結果、一番参加される方が多い日に決定した上で、皆様には改めて開催日をご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。以上です。

武濤委員長 ありがとうございます。

第4回の区民会議の開催予定が5月下旬辺りであろうということですね。その日程調整は改めて事務局から連絡をしていただきたいと思います。

この事務局からの日程調整の連絡について、いつぐらいの予定か、まだわかりませんか。

事務局 4月に入りますと、新年度になり皆さんのサイクルも変わるかと思っておりますので、4月に入ってから調整させていただきたいと思います。

武濤委員長 4月に入ったあたりで日程調整のご連絡が事務局からあるということです。よろしくお願いいたします。

菅原委員 これから3月19日の区民会議交流会に、代表の方が出席されるのでしょうか。それはぜひ出ていただきたいのですが、その時まで麻生区のテーマが決まっていない状態で、どうやって話してくるつもりなのでしょうか。各区の意見交換や情報交換し合う際、テーマは全体のテーマでしょう。

また、全体テーマの決定権はこの全体会議にあります。企画部会で承認されれば、

それが区の全体テーマとして決定するものとしてよいのでしょうか。区民会議として全体テーマをどうしようかということであって、企画部会は一応提案をくださったところで、どこか全体の場で承認をしないといけないのではないのでしょうか。何か、企画部会長が1人で責任重く、そこで集まって決めてしまい、区民会議交流会に臨むというのは大丈夫だろうかと思ってちょっと心配になりました。

全体会議を通さなくても、麻生区の区民会議のテーマの決定は、企画部会に任せるといえるのであればそれはそれでいいのですが、でも、そういうものでもないかなと思います。やっぱり一番は全体のテーマ設定があって、そこに部会ができたわけなのですから。

柳島委員 テーマってどれのことを指して言っているのでしょうか。

菅原委員 先ほどの「心と心が響きあう地域づくり」のことです。これは麻生区区民会議としての全体テーマでしょう。

柳島委員 これは標語ぐらいに簡単に考えていけばいいのではないのでしょうか。

菅原委員 標語だとしてもいいのです。先ほど、まだ全体テーマについての検討はこれからですとおっしゃったので、それでいいのかなと思ったのです。企画部会を中心に決めていただいて構わないのですが、もしテーマを変えていくのだとしたら、その道筋を確認していただければいいんです。

武濤委員長 区民会議として、このテーマに向き合う方法というか、決める方法というのをきちんと合意しておきたいということですよ。そのとおりだと思います。

柳島委員 私はそんなに難しく考えることはないと思います。だって、各区から区民会議委員が集まったとき、その場で麻生区のテーマは何ですかと聞かれるのですか。

菅原委員 各区のテーマについては、一覧でいつも出されていますよね。川崎区は何で多摩区は何とかと。今日の配布された資料にはありませんが、皆さんの手元に以前配られたものです。これを見ると、テーマがないところもあるんですよ。ばらばらと小さなテーマだけのところもね。

武濤委員長 今ここで話題に出てきていることについて、全体のテーマとしてとらえるか、あるいは標語のような形でいくか、これも区民会議のこの会議の中で、合意というか、決めておくことがやはり大切だと思います。

柳島委員 決まらなかったら今検討中でいいのではないのでしょうか。そんなに難しく考えるものでもないと思います。

植木委員 標語については区民会議交流会で発表しなくてもいいわけですよ。麻生区の区民会議としてやることについては、各部会で決まったわけですから、それを発表すればいいということでしょう。

武濤委員長 もう1回、ちょっと整理して確認します。

金光委員 交流会で扱うテーマというのは、既に各区から提案が出してあるのです。我々からも川崎市事務局から、こういう範囲という形の提案がありまして、それでは、麻生区としてはどのテーマをこのフォーラムの中で検討しますかということで、候補は出してあります。それぞれ同じようにほかの区も提案を出していて、一応5つぐら

いのまとまりとなっているようです。当日はそれらについてを話し合います。各区ごとのテーマについては、今回、多分そんなに大々的には取り上げてやらないと思います。出てきた各項目についてそれぞれ話し合いをするような形になっています。

例として、この配布資料のチラシの中、『意見交換』と書かれたところにも出てきていますが、各区でこういうテーマを取り上げたいといったものがここに書かれています。「地域で果たす区民会議の役割について、町内会・自治会や市民活動団体などとどう協働して取り組むか」というものが、どこの区の区民会議委員も取り上げたいテーマだったんですね。ですから、おそらくここに書かれた議題を中心に当日話されるのではないかなと読んでいます。

柳島委員 だから、区民会議交流会で聞かれた場合は、麻生区の地域交流・文化部会は、ここにある高齢者・障がい者の問題など、この2つをやりますと言えばよいし、環境・緑化部会は、今度3月4日の勉強会にもう1回集まられた時に決めたものを持っていけばいいのではないのでしょうか。

金光委員 それで、どこの区の区民会議委員も、自分たちが挙げた提案が意外に広く話題としては広がらず、テーマについて区民に聞いても「そんなものは知らない」と言われるケースが多いということから、②の「区民会議の提案が地域に広がるためには一体どういう行動をとらなきゃいけないのか」ということもこれから検討していきたい、となりました。これが大体メインの話し合いテーマになってくると思います。

柳島委員 区民会議の審議調査をやってみれば、各区でお互いに同じようなテーマを出すところもあると思うんだよね。それで個別のテーマについてはいろいろな広がりがあるのだから、麻生区を代表して3人の委員に当日参加いただいて、十分討議していただければそれでいいんじゃないですか。

金光委員 いわゆる区民会議の全体テーマというのは、どこの会社でもあるシンボルのようなものだから、それほど区民会議交流会に際して構える必要はないと思います。

武濤委員長 テーマという同じ言葉をいろんなところで使ってしまったのでちょっとわかりづらくなっていますが、今、企画部会長からのお話にあったように、3月19日は実際にそれぞれが取り組んでいるものについて話をし、お互いの情報交換をしてまいりたいと思います。

もう1つ、麻生区区民会議として、昨年度からのテーマを引き継いでいくかどうかに関しては、先ほどお話をいたしましたように、各委員の皆様から再度ご意見をいただいて、企画部会で取りまとめていく形にしていきたいと思います。これでよろしいでしょうか。

天野委員 企画部会で取りまとめていく、というところまではさっきの話し合いのとおりだと思っただけですね。取りまとめて決定するのか、次回のこの会議で承認するかというのが菅原委員の発言の趣旨だったのではないのでしょうか。

武濤委員長 わかりました。それでは、そこのもきちっと決めておきたいと思います。企画部会で再度審議をしていただき、この全体テーマについては次回の第4回区民会議で承認するというところでよろしいですか。

<委員、承認>

ありがとうございます。そのような方向で進めて行きたいと思います。

山崎委員 結局、区民会議交流会の中身については、情報交換をしたいということが主だ
と思うんですよ。だから余り大げさに考えないでいいと思います。

武濤委員長 ありがとうございます。それでは、今申し上げたような形で、こちらの全体
テーマについては進めていきます。

(3) その他

武濤委員長 それでは、その他の(3)その他にまいります。事務局より2件審議してい
ただきたい事項があると伺っておりますので、事務局から説明をよろしくお願いいた
します。

事務局 貴重なお時間ありがとうございます。

麻生区の区制30周年記念事業の実行委員会並びに第4期のあさお福祉計画推進会
議の委員の推薦を、この区民会議からお願いしたいということでございます。

1つめの「麻生区区制30周年記念事業実行委員会」は、多摩区から分区した麻生
区が平成24年7月1日にちょうど区制30周年を迎えることを契機に、この区の資
源や魅力を再発見するとともに、地域の活性化と区民の区に対する誇りや愛着を高め
ることなどを目的といたしまして、このたび実行委員会を立ち上げるものです。実行
委員会の役目としましては、企画の検討が中心になるかと思えます。任期は平成23
年3月18日から平成25年3月までということで、ちょっと今中途半端な期間を言
いましたけれども、実はもう第1回目の実行委員会を来月の3月18日金曜日の夜に予
定しております、ぜひとも区民会議委員からも1名の方のご推薦をお願いしたいと
いうことでございます。

もう1つの「第4期あさお福祉計画推進会議」でございますが、現在、第3期の推
進会議がこの福祉計画の取り組みの策定などを行っておりまして、次期計画の策定が
主な業務になるかと思えます。任期は平成23年4月1日から平成25年3月31日
までの2年間ということになっております。ちょうど現在は第3期の福祉計画を作っ
ているところでございますが、次の第4期あさお福祉計画推進会議では、この進捗状
況、確認、それから第4期の福祉計画の策定に向けた準備などを行う予定でございま
す。特に福祉に関する知識がなくても委員にはなれますので、ご安心いただければと
思います。

以上、2つの会議への委員推薦につきまして、どうぞよろしくお願いいたします。

武濤委員長 ありがとうございます。

ちょっと繰り返してになってしまうかもしれませんが、今、2つの会議の委員とし
て、こちらの区民会議の委員からどなたか出ていただけないかということです。1つ
めが区制30周年記念事業実行委員会ということですね。もう1つが第4期あさお福
祉計画推進会議の委員ということでございます。

最初に、区制30周年記念事業の実行委員会の委員をどなたかお願いしたいと思

ます。もう1度申し上げますと、これは平成23年3月18日に最初の会合が予定されていて、25年3月までの任期で、区制30周年に合わせた記念事業を行うための実行委員会であるということですね。区制30周年ということで、非常に大切な委員会だと思います。せっかくの機会ですので、どなたかぜひ就任していただきたいと思いますが、皆様、いかがでしょうか。

柳島委員 委員長は何か充て職のような形になってくるのでしょうか。他からも委員としての推薦など、言われているんですか。

武濤委員長 区制30周年記念という大きなものを扱う委員会なので、多分ここにいらっしゃる方々もそれぞれいろんなところから代表・推薦という形でお出になられると思うのですが、いかがでしょうか。

柳島委員 部長かどなたかにやってもらえばいいんじゃないでしょうか。

植木委員 委員長か副委員長にやっていただいたらどうでしょうか。

飯塚委員 いろんな団体から委員として入ってくるでしょうし、そんなに大勢じゃ入り切れないから区民会議からも推薦は1人でしょう。

柳島委員 委員長はほかの団体からの推薦となっていないんですよ。

武濤委員長 なっていません。

柳島委員 それならば、委員長が区民会議を代表して参加していただければよいと思います。

武濤委員長 そうですね。重要な会議だと思いますし、委員長というお言葉をいただきましたので、私の方でぜひ頑張ってこれに参画させていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

それではもう1つ、第4期あさお福祉計画推進会議、こちらも非常に大切な取り組みだと思いますが、どなたかご就任いただける方、いらっしゃいませんか。

柳島委員 この間、地域交流・文化部会のときに、私や魚本委員は今、区社会福祉協議会の理事でもあり、いろいろと福祉のことをわかっているけれども、他の委員の皆さんが福祉のことをあまりお知りでないので、私は、このくらいの知識しかないのかなとビックリしてしまいました。決して馬鹿にしているわけじゃなくて、皆さんなかなか理屈のいっぱい通るような人なのだけれども、福祉については全然知らないのだなと思って、だから、この間勉強会を行った方の中から推薦してみてもどうでしょうか。福祉について特段知らなくてもいいのだから、逆に知ってもらうために、地域交流・文化部会の委員の中から推薦してはどうでしょうか。

武濤委員長 今、柳島委員から、地域交流・文化部会の委員から選んではいかがでしょうかということですが、植木委員、いかがでしょう。

竹市委員 何回ぐらい会議があるのでしょうか。

事務局 年3回から4回程度と伺っております。

竹市委員 植木さん、悠々自適だよ。

魚本委員 植木さん、お願いします。

植木委員 はい、わかりました。

武濤委員長 ありがとうございます。それでは、植木委員に就任していただきたいと思
います。

どうもありがとうございました。皆様のご協力のもとに、予定しておりました議事
についてこれですべて終了いたしました。何か他にこれは発言しておきたい、と
か、これを審議してほしいというようなこと、あるいは私がちょっと忘れてること
とかがあればご提案ください。大丈夫ですか。

<委員から特になし>

ありがとうございます。

それでは、式次第にある議事はすべて終了いたしました。本日お忙しい中、尾作
参与がお見えになられておりますので、ぜひ本日のご感想とかご助言とかをいただ
けたら大変うれしく思いますが、いかがでしょうか。

尾作参与 申し訳ございません。ほとんど終わりにかけた時間に参りましたので、今日の議
事が何だったのか、今レジュメを端から読んでいた最中でした。今、柳島委員から、
福祉に關しまして委員の皆様へ余り知識がないというようなご発言がありましたが、
行政の職員を前にしてこういうお話をするのは本当に釈迦に説法なのかなと思うので
すが、23年度予算につきましても扶助費の増加が大変激しい状況で、扶助費の合計
額が市全体で1,040億円だったかなと思います。そんな中で来年度予算の経常収
支比率を算出させていただきますと、子ども手当を算入するかしないかで若干違いが
出てくるのですが、およそ98.2%ぐらいまで進んでしまうということです。これ
は今、川崎市の財政上、余力が1.8%程度しか残されていない状況で扶助費がどん
どん伸びてくるということで、そんな中で第3期の再生フロンティアプラン実行計画
が策定されています。その中でもやはり最終年度まで減債基金の借り入れで合計41
3億円借り入れした中で、臨時財政対策債185億円で収支バランスをとっていく内
容になっていますので、それを勘案しますとかなり将来負担比率も上がってくるの
かなということも推測されます。ぜひ地域の方で福祉を充実させていただく中で、で
きる限り持続可能な社会をこれから地域の皆さんの中で構築していかなくては
いけないのかなということを感じながら、最後の方だけお話を伺って参りました。
以上でございます。

武濤委員長 どうもありがとうございました。

今、山崎参与もお見えいただいたのですが、実は審議がちょうど終了いたしまし
て、尾作参与からお言葉をちょうだいしていたところなんですね。お見えいただいて
即という感じで申しわけございませんが、一言いただけたらと思います。

山崎参与 遅くなりました。参与を仰せつかっている山崎と申しますけれども、今日はち
よっと議会中で、尾作先生は原稿を書き上げるのが早かったものですから早目に到着
されたんだと思います。区民会議のメンバーの皆様には、本当に度重なる議論をいた
だきまして、ありがとうございます。その御礼だけ申し上げて、ごあいさつに代えさ
せていただきます。本日はどうもお疲れさまでした。

武濤委員長 どうもありがとうございます。議会中であるということをお伺いするの

で、本当にお忙しい中ご出席いただきまして、どうもありがとうございます。今後とも麻生区区民会議へのご助言等、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、本当に最後になりますけれども、本日の審議も踏まえまして、磯野区長よりごあいさつをお願いしたいと思います。

区長 大変熱心なご審議をありがとうございました。この第3期の麻生区区民会議も3回目となりまして、各部会の非常に精力的な活動によりまして、麻生区区民会議のテーマといいますか、具体的な方向性も定まってまいりました。ぜひ今日のパワーを減らすことなく、第4回、第5回に向かって、これから1年強の期間がありますけれども、提案をまとめ上げていただいて、なるほど麻生区の区民会議はそうなのかというような報告書をまとめていただきたいと思いますので、引き続き熱心なご審議をお願いしたいと思います。本日は大変ご苦労さまでございました。

4 閉 会

武濤委員長 磯野区長、ありがとうございました。

それでは、これもちまして第3回区民会議を終了いたします。長い時間にわたりご審議いただきまして、どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

午後4時25分閉会